

第6回練馬区独立70周年記念誌編さん委員会 会議要録

1. 日 時 平成28年10月27日(木) 13時30分～15時

2. 場 所 練馬区役所東庁舎7階701会議室

【次 第】

- (1) 表紙デザイン案について
- (2) 別冊付録について
- (3) 印刷部数および定価について
- (4) 販売方法について
- (5) その他

3. 出席者

〈参加委員〉

委員長	斉藤 睦	専門調査員
副委員長	黒田 叔孝	副区長
委員	高橋 葉子	学識経験者
委員	漆澤 その子	学識経験者
委員	矢島 一	歴史写真研究家
委員	永井 信孝	専門調査員
委員	市村 保	区長室長
委員	佐々木 克己	企画部長
委員	小西 将雄	総務部長
委員	木村 勝巳	地域文化部長
委員	大羽 康弘	教育振興部長
委員	市橋 歩	区長室副参事(広報戦略担当)
委員	小金井 靖	文化・生涯学習課長
委員	杉本 圭司	情報公開課長

〈株式会社 J T B パブリッシング〉

制作担当 2名 営業担当 1名

〈事務局〉

情報公開課

4. 発言内容

〈委員長〉

それでは、ただいまから第6回練馬区独立70周年記念誌編さん委員会を開催いたします。

本日の議題は、

- (1) 表紙デザイン案について
- (2) 別冊付録について
- (3) 印刷部数および定価について
- (4) 販売方法について
- (5) その他

以上の5件です。では、まず(1)表紙デザイン案について始めていきたいと思えます。

制作担当の方に説明をお願いいたします。

〈JTB パブリッシング〉

表紙デザイン案を3案用意しました。A案は、練馬の自然、みどりをイメージする案です。

B案は、区民参加をテーマに内容を進めているため、中面で登場した区民の方を表紙に登場させる案です。

C案は「70周年記念誌」ということで、時の流れが感じられるように、昔の写真から現在の写真へ流していくコンセプトです。

〈委員長〉

「練馬物語～Story～」のデザインはあくまで案の段階であり、次回第7回編さん委員会で決めたいと考えていますが、ひとまず今回の案に対する感想をお願いします。

〈高橋委員〉

第一印象ですが、B案が今風で人の顔が見えます。打ち出したいのが「Story」ということで、コンセプトが明快です。A案は綺麗ですが、70周年誌かどうかがわかりません。C案は歴史書のような印象を受け、写真の見せ方が難しそうです。B案の写真ですが、免許証のような写真が混ざるのはどうかと感じますが、方向性としてはB案が良いと思えます。

<矢島委員>

A案の右下の建造物が切れていて何かわかりにくいので、はっきり出してほしいです。C案は昔を知らない今の人に向けて、写真の注釈を入れた方がよいと思います。B案は、撮影された人の許可を得ているのでしょうか。

<永井委員>

全体的に余白が必要だと思います。B案でも上の罫があれば、下の罫が入らないため、全体的に詰まり過ぎのような感じがします。

<漆澤委員>

A案の書体が素朴でぬくもりがあり、好みです。確かに余白がもう少しほしいと思います。

<文化・生涯学習課長>

写真のコラージュなので、表紙のほか裏表紙、背表紙も包みで見たいと思います。包んだイメージには、どこまで白が使えるか。写真でも良いが、ただ写真を見せる表紙ではなく、70周年記念ロゴ等が表紙に入ってくるため、開いてみたときの見え方も大事です。

<区長室副参事>

B案は変わった感じが出せると思います。区民参加・協働が感じられ、区民が主役となるイメージで、親しみを感じて買ってもらえそうです。ロゴやスローガンのあしらいも見てみたいと思います。

<委員長>

70周年記念のロゴは決定しましたか。

<区長室長>

内部的には決定しており、12月の初めには発表の予定です。

<教育振興部長>

A案は何の本か分かりにくいですが、B案は斬新で良いと思います。本誌の中に出てくる人の写真で構成しているようですが、年齢層が若いようです。C案は従来型の記念誌のデザインイメージのように感じられます。

<総務部長>

60周年の記念誌ならC案でも良いですが、今回の未来に向かうというコンセプトとしてはいかがなものでしょうか。A案は文字をはっきりとさせ、写真は何を使うかを考えたいと思います。B案は区民参加がテーマなので、区民が登場する写真があるのはよいが、書体はこの書体で良いのでしょうか、もう少し余白もほしいと思います。

<企画課長>

B案に地色を入れたいと思います。白ではいわゆる役所の印刷物に見えてしまいます。

<区長室長>

70周年記念のロゴをデザインに入れる方向でご検討をお願いいたします。B案は知った顔が出ていますが、特定の人が表紙に出ることに区として問題はないのでしょうか。

<副区長>

表紙案Bは顔写真が気になりますが、本誌内で紹介している人ならば理由が立ちます。今までは「過去」しか紹介されてなかった記念誌ですが、今回は将来の未来志向の考え方について、本誌を使って再発見してもらおうという考えが見られる作りにしてもらえるとありがたいです。

<委員長>

表紙・裏表紙・背表紙をロゴも含めて改めて提出してください。未来を感じさせるものを表紙の中で表現したいと思います。また区民の顔を表紙に使う場合は、掲載する理由を作っておきたいです。

<区長室副参事>

「Story」と「練馬物語」、どちらが中心なのでしょうか。

<JTBパブリッシング>

「Story」「練馬物語」は単語としては本誌の中でほとんど使用していません。

<文化・生涯学習課長>

書名はどうなるのでしょうか。書名を決めないとデザインはできないと思います。

<委員長>

「Story」と「練馬物語」、どちらを前面に出すかについても次回の第7回編さん委員会で提案してもらおう事とします。

<委員長>

続いて（２）別冊付録についてです。では、編集担当の方および事務局、別冊付録の説明をお願いします。

<JTB パブリッシング>

本体は自宅で読んでいただき、別冊付録を持ち歩いて楽しんでもらう予定です。本体の最後にのりで別冊を貼り付けたいと思います。

別冊の台割は、１ページは目次・地図凡例、２ページは練馬区全図の見開き、４ページから４分割分図を４見開き。地図掲載項目は資料のように考えています。

12 ページからは現在流行している「大人の塗り絵」を楽しんでもらいます。練馬の歴史・風景をテーマに、電子媒体で使用するイラストの線画を基に５ページ分書き起こします。

また、別冊で使用する用紙も、色鉛筆で書けるようなものを予定しております。

制作する電子媒体は、練馬区の過去の歴史から現在、未来までを楽しく理解できるような内容で構成したアニメーションを考えています。

最近の動画は、１コンテンツにつき２分程度が主流となっているので、練馬の誕生から未来へ、練馬で暮らしている人の一生も含め２分から２分半で紹介する予定です。コンテンツは本誌本体の構成と同じ要素になります。

資料２枚目と３枚目は電子媒体のアニメーション展開例です。まだ仮ですが、練馬区全体の歴史から、行政のサービスを使った区民の生涯についてコミカルにテンポよく見せていきたいと考えております。

<事務局>

委員の皆様にご検討いただきたいことは次の３点です。

- ① 地図の大きさについて
- ② 「大人のぬり絵」を別冊に付ける案について
- ③ 制作した電子媒体の取り扱いについて
 - ・ 区ホームページまたは公共施設のモニター等で流す案
 - ・ 本誌に付録として DVD を付ける案(DVD 製作費が 1 冊あたり 200 円かかるので、付録として付けるかどうか)

<委員長>

本体に付録として動画を付けるか、持ち歩く地図の大きさとして適当かについてご意見をいただきますが、まず地図に乘せるべきものと地図サイズについて意見ををお願いします。

<高橋委員>

この大きさが良いと思います。

<漆澤委員>

今はスマホ地図が良いので、差異化を明確にしたいと思います。見やすさやスマホとの連動等はどうでしょうか。

<総務部長>

練馬区で GIS の地図を持っているので、連動も可能か担当箇所（土木部）と確認してください。QR コードでリンクもできるのではないのでしょうか。

<副区長>

担当同士で確認をお願いします。

<高橋委員>

練馬区全体の一覧は欲しいが、今の人は外出時に地図を持って行かないのではないのでしょうか。

<区長室長>

ベース図に拘らず、どのように使われるかが大事です。また分図でどの程度の物件が掲載されるのでしょうか。現在出されている案の他のプロットも必要です。

<委員長>

全図に公的施設、分図により細かい施設をプロットする予定です。誌面に掲載された施設やこれ以外に必要な項目については今日中に決めなくても大丈夫です。

<副区長>

歩く側からの立場で必要な項目を考えてほしいと思います。また出張所の名前がもうじき新しい名称になるので注意してください。また、ポタリングルートを来年度作る予定ですが、本誌掲載には間に合わないと思います。

<文化・生涯学習課長>

レンタサイクルの情報は必要だと思います。また、散策マップの情報資源として「休憩所」「食事処」「トイレ」は必要です。

<委員長>

次の第7回編さん委員会に確認できる地図を提出してください。表現の仕方も含めて検討します。また「大人のぬり絵」ですが、5ページはページ数として多いのでしょうか。

<JTB パブリッシング>

スペース的には5ページ分用意していますが、いくつかの絵になるかは検討中です。
資料4の2-3の絵をぬり絵とするイメージです。

<副区長>

実物の写真をそのまま使うのではなく、イラスト化してぬり絵にするのですね。

<委員長>

「大人のぬり絵」は話題にもなり必要だと考えますが、5ページは多いのではないのでしょうか。ただし、本の構成上、1ページか5ページとなります。

<区長室副参事>

「大人のぬり絵」は流行っているのでしょうか。図書としても売れているのですか。

<JTB パブリッシング>

「大人のぬり絵」は少し前から流行っていて図書としても売れています。塗り絵を楽しみながら練馬の歴史を学んでもらうことができ、また、お子さんと一緒に楽しむこともできます。自分の感じた色付けで、「自分だけの練馬区独立 70 周年記念誌」という本の意識も持ってもらえるのではないかと考えています。

<委員長>

「歴史」だけでなく「みどり」を取り入れたぬり絵も入れてはどうでしょうか。ぬり絵の具体的な内容をもうすこし分かるようにして提案してください。
電子媒体を DVD にして付録につけた場合、定価が 200 円高くなる件についてはいかがでしょうか。

<総務部長>

3,000部の印刷・用紙代金を売値に換算すると、1冊あたり1,700円となりますが、DVD付にすると1冊あたり1,900円となり、売れにくいのではないのでしょうか。
今回は「市販する」ということで進めてきたので、「売れること」を優先したいと思います。

<JTB パブリッシング>

「市販商品」という考え方では「無料で配信されている物は付録に付けない」というのが基本のため、WEB等で無料発信するのであれば市販商品にDVDを付ける必要がないと思います。

<委員長>

続いて（3）印刷部数および定価について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>

「60周年記念誌」の在庫が多く、この2年間に新規採用職員にも配布してきましたが、まだ在庫が889部あります。過去の実績も考え、印刷部数は3,000部としたいと思います。ただし1年以内に売り切れた場合は増刷も検討します。

前回の「60周年記念誌」の販売方法と違うのは、書店での販売を行うところです。販売を希望する区内の書店で本誌を販売していただき、販売部数に応じて月毎に区が書店に販売手数料を支払う方法です。また、区民情報ひろばにおいても販売します。

定価の設定は、直接、印刷製本にかかった費用を部数で割ると定めているので、3,000部制作した場合1冊あたり1,700円、4,000部で1,400円となります。

書店組合からも売りやすいようになるべく価格を抑えてほしいとの話があるので、3,500部1,500円の案もあります。

他区における記念誌販売実績は、葛飾区以外が来年度70周年を迎え、品川区が書店販売の実績があります。新宿区、文京区が今後書店販売を検討していますが、練馬区の販売目標1,000部が最も多い数です。新宿区は前回1,500円の記念誌500部を1年以内に売り切っています。ただし、他区においてはこれまで電子書籍の販売実績はありません。

<委員長>

続いて（4）販売方法について、事務局から説明をお願いいたします。

<事務局>

練馬区と練馬区書店組合12店舗と販売委託契約を締結し、必要があれば1年ごとに契約を延長します。区内および練馬区周辺の大規模書店は練馬区書店組合に登録されていないため、個々に交渉を行う事になります。電子書籍はJTBを通してデジタルストアにて販売します。

<委員長>

印刷部数（3,000部）、価格（1,700円）、DVD化、電子書籍化についてはいかがでしょうか。

<高橋委員>

価格を抑えれば多く売れるというわけではないと思います。本当にほしい本なら200円～300円の差は関係ないのではないのでしょうか。DVDは必要ないと思います。

<漆澤委員>

新宿区の1,500円をベースとして考え、上限は1,700円だと思います。DVDを付録にするのは無駄ではないでしょうか。

<永井委員>

私もホームページへの掲載で十分であり、DVDは不要だと思います。価格は1,500円のほうが売やすいと思います。

<企画部長>

1,000部で50万円の違いなら、4,000部制作してもよいのではないですか。

<総務部長>

在庫を置く場所がなく、重量もあるので難しいと思います。

<委員長>

販売促進について検討をお願いします。

<委員長>

本日は体裁と販売についての議論が中心でしたが、その他委員の皆様から何かご意見があればお願いします。

<漆澤委員>

できるだけ多くの人に気軽に手に取って見てもらいたいと思います。本の重量を減らすため、軽い用紙にできませんか？

<事務局>

現在の束見本重量は800gです。

<委員長>

今は軽い紙が流行っているようです。

<JTBパブリッシング>

本体を軽量化するための用紙に変更した場合、写真の色の出方が変わってきますが、軽くしてもきれいに発色するような用紙を考えていきます。

<区長室副参事>

以前、農業を紹介するページを減らすようお願いしましたが、台割修正は出来ましたか？

<委員長>

都市農業を紹介するページを4ページ減らしました。

<事務局>

次回の編さん委員会は、来年1月26日（木）15時30分～17時を予定しています。これまでの編さん委員会の次第や議事録、今後の議事録について、11月以降、区のホームページに掲載していきたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

<委員長>

結構です。では以上で第6回編さん委員会を終了いたします。

以上